

2013年9月30日、月曜日。阪大 Global-30 の入学式があった。大学院コースを代表して学部2コースと大学院2コースの新入学生を前に、英語で祝辞を述べることになっていた。何時も挨拶は、その場で学生達の顔ぶれを見ながら考えて、話す事になっている。10分程度の挨拶であったが、日本語でまとめてみたので、興味のある方は読んでみてください。(一部、加筆など有り)

G30学部・大学院英語コース合同入学式

式辞 国際物理特別コース(IPC)長

高部英明

新入生の皆さん、列席の父兄、家族の皆さん。おめでとうございます。大阪大学の大学院を代表して歓迎いたします。先ほどの東島理事の言葉にもありましたように、日本の大学では国際化が大変重要な課題となっています。その目玉の一つがG30です。

日本はそもそも1400年ほど前に、中国と交流し、多くの文化や文明を吸収しました。日本の国際化の始まりです。中国・韓国との国際的交流が歴史的に日本を豊かにしてくれた例は枚挙にいとまがありません。

そんな日本は250年にわたる徳川時代、鎖国という「反国際化」の中で封建制度にもめげず、固有の文化を築いてきました。その代表例が武士階級という世界に珍しい教養人達です。

ところが、160年前、米国のペリー提督が4隻の黒船で日本に来て「門戸を開け」と徳川政権に迫りました。同時にロシア、英国、フランスも門戸開放を要求していきました。武士階級は結果として欧米の先進的な科学・技術・文明を取り入れることで国家の近代化を図るという明治維新を15年間で成し遂げました。これが145年前の「第1の近代革命」です。

この革命により帝国憲法が出来たが、まだまだ、民主主義にはほど遠かった。近代化をしたのは良いが富国強兵で革命40年後の日露戦争に勝って軍部は増長してしまう。その結果、天皇の名を軍が利用し、勝手に中国に進出してしまった。結果として、戦艦、戦闘機、戦車を動かす石油の最大輸入国であった米国と戦争をするという暴挙に出てしまう。明治維新から75年、すでに「第1の革命」は機能不全となっていた。日本は完膚なき敗戦を迎え、米国進駐軍から新しい憲法を頂くことに成る。ようやく、民主主義を勝ち取った(負け取った?)。これが「第2の近代革命」。

戦後、目覚ましい経済発展を遂げ、バブルの時代には「日本を売れば米国が3つ買える」というばかげたジョークが囁かれるほど、戦後日本は経済成長を謳歌した。所が、50年も経つと経済は沈滞、若者が夢を持たない時代が来た。

数えてみれば、今は第2近代革命から奇しくも約70年（ソ連も革命70年で崩壊した）。日本を救うには「第3の革命」が必要とされているのです。それは何か。日本の国際化による多様な人材の育成とそれを受け入れる日本人の意識改革です。同時に、TPPなど「第2の開国」が迫られています。

まさに、ここに出席しているG30の新入生達は、日本に国際化をもたらしてくれる革命戦士なのです。その意味でも再度、皆さんを歓迎します。

さて、皆さんの様に若い内に海外滞在経験を持つことは長い人生に大変貴重です。私は博士時代を得て、1980年から1年間、当時西ドイツのマックス・プランク研究所（ミュンヘン）で研究しました。その後、米国のアリゾナ大学で1年間、研究生活を送りました。ドイツに着いた日からカルチャーショックの連続でした。研究観・人生観・家庭観も全てが未知の価値観でした。私はその良い面を大いに肯定し、人生観が大きく変わりました。その勢いで米国に行き、沢山の友達を作ることが出来ました。現在、大型レーザーを用いた国際共同研究を推進しています。装置のある、米国西海岸、東海岸、フランス、英国、中国の北京と上海と、気心の知れた研究仲間100人以上と先端科学を推進しています。私の友達を作る極意は「Honesty is the best policy」です。研究に於いてもしかり。

皆さんも日本に来て沢山の日本人の友達を作ってください。かなりの友人は生涯を通したすばらしい仲間になり得ます。お願いします。阪大の学生は、英語力があります。しかし、彼等は会話の経験がなく、コミュニケーションが難しい。加えて、皆、恥ずかしがり屋です。ですから、話しをしようとした時、笑顔で、ゆっくりしゃべって下さい。そして、返事が無くてもあきらめないでください。忍耐強く、英語でとつとつと返事が戻るのを待ってください。そして、あとは、身振り手振りで会話を少しでも実りあるものにして下さい。

あなた方は阪大の国際コースに入学しました。阪大にはすばらしい勉学、研究のインフラが整備されています。大いに活用して自己実現を目指してください。同時に、阪大の国際化の切り札として貢献して下さることをお願いし、私の挨拶とさせていただきます。

本日は入学、本当におめでとうございました。

2013年9月30日（月）
G30 国際物理特別コース(IPC)
高部英明
Mail: takabe@ile.osaka-u.ac.jp
Tel(office) : 06-6879-8731